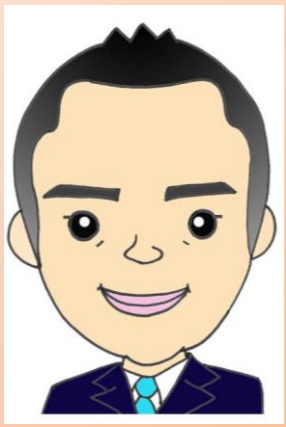


小柳はやと通信

令和２年 冬号

今年ものこり僅かとなりました。コロナ禍の１年となり、残念でなりません。夏祭りなど各地区の行事は中止となり、修学旅行など学校行事も縮小するなど大きな影響がありました。予防接種法の改正により、来春には新型コロナウィルスの予防接種が黒部市でも始まる見込みです。できるだけ早期に、コロナ禍に対しての処方が整い、人と人の交流が復活し、様々な皆さんから多様なご意見を聞ける日が待ち遠しいです。来年も、引き続き自助、共助、公助、「奪えば足りず、分ければ余る」の考え方を根底において議会活動に努力して参ります。

令和2年　12月議会の一般質問

代表質問から

来年度の財源不足について

個人・法人市民税の合計で3億円、固定資産税で4億円、税収80億円に対して7億円程度の減収を想定している。不足については、臨時財政対策債や国の固定資産税減収補てんなどを活用していく。

来年度の目玉事業とは

市制15周年事業とオリンピック・パラリンピック関連事業を目玉事業として計画したい。

インフルエンザ予防接種について

国から、要綱は示されたが、接種時期や優先度など詳細は未定となっている。現時点では、市民は無料にて希望者全員が接種可能。接種場所は、学校や公民館での集団接種も検討していく。

成人式の開催について

来年１月は予定通りコラーレにて開催する。感染防止対策を行い、成人者は指定席として、一部はホールに入場できない保護者もいる。

R4年度は、18、19、20歳と対象3学年となるが？

成人式は黒部市独自の判断で開催となる。成年年齢引き下げを見据え実施方法は速やかに決定したい。

高齢者の健康増進について

高齢者が安心して外出する機会の創出について

3密対策を講じて、地域の「通いの場」や介護予防教室を再開している。市社協や地区社協も事業を実施している。

ワクチン接種後の外出機会の創出について

健康増進については、外出機会の創出による社会参加が重要であり、身近な公民館での取組を推進したい。ふれあい福祉事業の利用施設の拡充も検討中。

インフルエンザ予防接種の助成について

今年の予防接種について

65歳以上は従来通り一部助成（公的負担１回2600円）、中学生以下は国の臨時交付金を活用し、県・市の事業で今年度に限り助成（公的負担１回3000円）

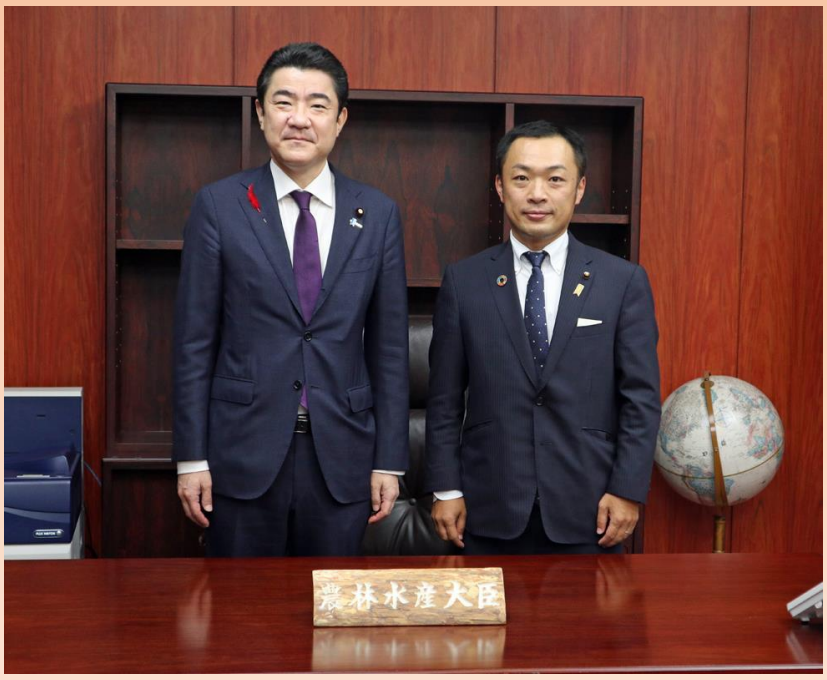
来年度の助成について（若年層は学校生活や日常生活への影響を抑えることから保護者が仕事を休むことが少なくなることが期待される。）

65歳以上は従来通り、若年層については効果を検証したい。基本的には今年度のみの助成だが、様々な影響については調査研究を行いたい。

ブログを活用しています！ 日々の活動報告、市議会の内容など更新しています。ＰＣ，スマホ、携帯から簡単にアクセス可能です。

ホームページ検索「小柳はやと」

発行元：小柳はやとを育てる会
〒９３８－０２８２　黒部市宇奈月温泉２４３－２



野上大臣誕生

野上浩太郎農林水産大臣を表敬訪問しました。第一次産業の後継者問題、輸出産業として育成、中山間地の農排水施設老朽化対策、鳥獣被害対策など大臣としての抱負を直接お伺いしました。内閣官房副長官など経験豊富で、とても心強く、富山県や黒部市の課題に対しても真摯に受け止めて抱きました。

2020年 今年の黒部市5大ニュース

1、新型コロナウィルス対策

コロナ禍の1年、感染拡大、三密防止、1人10万円給付、GOTOなどコロナの1年

2、明峰、清明中学校スタート

市内4つの中学校が閉校となり、新たに2つの中学校がスタートしました。

3、新田富山県知事誕生

4期16年石井知事から、新田八朗新知事が誕生しました。

4、黒部市議会 議員倫理条例制定

12月定例会で、条例が可決成立。議会基本条例と2つの柱が整いました。

5、記録的暖冬 自然災害の脅威

年初は記録的暖冬、全国的な豪雨災害、自然の脅威と中山間地衰退を感じます。

※ 議員定数について ※

議会改革特別委員会の委員長として、来年1年は議員定数について、責任ある立場で取り組む予定です。令和4年10月の次期改選にむけて、議会運営の方法&適切な議員定数についてご意見をお聞かせください、各市町村の違いを含め、以下のようなポイントが考えられています。

・人 口　　・面 積　　・予算規模
・地方交付税交付の算出規模
・通年議会　・議員報酬　・合併の有無

※ 今年の感想 ※

コロナの1年でした。ウィルスより怖いのは人の心だと痛感。秋以降は治療体制も整い、春先のような直接的に死亡する事態は少なくなりましたが、「感染する」、「感染させる」の恐怖心が、何より我々の心を蝕んだようです。

人との交流を避けることは、感染防止にはなりますが、「毎日楽しく生きる」を制限させられてるようです。来年にはワクチン後の社会となります。また、新たな不安もありますが、何より「毎日楽しく生きる」ことを大切にしたいです。

「多様な意見」を聞くことを楽しみにしています、人口動態が急激に変化していくなかで、大切な柱について多様な世代からのご意見を、様々な場面で教えて頂くことを期待しています。